



日身体障害者補助犬学会 第14回学術大会

The 14th Annual Meeting of the Japanese Society of Service Dog Research

犬と人をつなぐ、人と社会をつなぐ補助犬
～人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして～

協賛募集のご案内

主催：一般社団法人 日身体障害者補助犬学会

<http://www.jssdr.net/>

ご挨拶

犬と人をつなぐ、人と社会をつなぐ補助犬
～人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして～

2002年5月22日、介助犬法制化の要望がきっかけとなり、盲導犬、聴導犬も加わっての運動が国会を動かして議員立法で成立した法律 身体障害者補助犬法が成立しました。それから20年、未だ補助犬法の認知度は低く補助犬同伴拒否も絶えない実態はありつつも、行政主導での啓発や厚労科研費による調査研究、総合研究事業や検討会の実施など、多くの成果も生んで来た20年であったと思います。2008年には障害者差別解消法も施行が始まり、東京オリンピック・パラリンピック2020の準備として多くの障害者の社会参加推進事業と心のバリアフリーを目指した啓発が推進されました。海外からの「補助犬」に限らない「サービスドッグ」受け入れについての検討会が設置され、安全な受け入れ体制についての検討がなされたことも大きな成果と考えます。

COVID-19のパンデミックは日本も世界も震撼させ、全ての予定が変更を余儀なくされました。東京オリンピック・パラリンピックも延期となり、無観客での開催となりました。結果的に厚生労働省主催の検討会等で準備を進めた海外からの「サービスドッグ」受け入れについても混乱なく安堵しました。が、補助犬訓練事業者にとっては、障害者への訓練提供も感染のリスク回避を最優先に考えなければならない、啓発や募金活動が出来ない大変な苦難の日々を過ごすこととなり、事業の在り方を大きく見直すきっかけとなりました。

そのような危機の中にあっても犬たちは将来の不安や苦悩を感じず、いつも変わらず「美味しいこと!」「楽しいこと!!」「散歩!お出かけ!!」と私たちを笑顔にしてくれます。人と人を繋ぎ、外へ、社会へ連れ出してくれます。社会が変わっても、補助犬と暮らすことでこれまでの日常がこれまでと同じように楽しく、やさしい気持ちで過ごせるのは犬にしか出来ない力なのではないかと思えます。

感染症により人と人が、人と社会が分断されたことは私たちの心に大きく影響しました。このような危機的な時だからこそ、人と人、人と社会をつないでくれる補助犬の存在に着目し、より多くの人がつながり、より広い社会につながるような学会活動になることを願っての開催としたいと意気込んでおります。

特別協力をして下さっているセントレアは第5回2026アジアパラ愛知・名古屋大会の玄関となる空港です。本大会の内容が、2020のレガシーをさらに進化させ、より良いおもてなしの体制づくりに寄与することを願って。

補助犬がつなぐ人と人、人と社会が、より拡がり、人にも動物にもやさしく楽しい社会に寄与できることを願っています。



大会 HP:QRコード

日本身体障害者補助犬学会 第14回学術大会
(<https://supportoffice.jp/jssdr2022/>)

大会長 高柳友子

(医学博士・社会福祉法人 日本介助犬協会 専務理事)



開催概要

1. 開催趣旨

身体障害者補助犬法が 2002 年 5 月 22 日に成立してから 20 年目の節目の年となるが、未だその認知度は低く同伴拒否はなくなり、補助犬法の認知度はむしろ低くなっていると危惧される傾向も見受けられます。

犬は最も古くからの人間の伴侶動物として生活を共にして来た動物です。補助犬は障がい者にとって心の支えとなり、生きがいともなり、機能的自立を支えるに留まらず、精神的安定やエンパワメントにもつながるところが、道具とも介助者による介助ともまったく異なる大きな効果といえます。

より多くの専門職、そして一般の方々に、補助犬の素晴らしさと、身体障害者補助犬法のことを知っていただくとともに、「障害者差別解消法」と補助犬についても今大会のテーマとして、より積極的に社会全体で考える契機としたい。

2. テーマ

「犬と人をつなぐ、人と社会をつなぐ補助犬 ～人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして～」

3. 主催、後援等（申請予定）

主 催：一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会

共 催：公益財団法人日本盲導犬協会、公益社団法人日本聴導犬推進協会、
社会福祉法人日本介助犬協会

特別協力：中部国際空港株式会社

後 援：厚生労働省、国土交通省、愛知県、名古屋市、身体障害者補助犬を推進する議員の会

4. 開催方式

現地開催・Web 開催（オンデマンド配信）併用のハイブリッド開催（予定）

5. 会期

現地開催 : 2022 年 12 月 10 日（土） 11:00 ～ 18:00（予定）

オンデマンド配信: 2022 年 12 月 17 日（土）～ 2023 年 1 月 31 日（土）（予定）

6. 会場及び所在地

中部国際空港 セントレアホール、イベントプラザ他

日本身体障害者補助犬学会 第 14 回学術大会ホームページ

7. 学術大会参加対象、人数

学術大会プログラム 200 名

補助犬訓練事業者、認定法人、補助犬使用者、医療従事者、福祉関係者、獣医師、
行政関係者、教育関係者、その他

8. 参加費:

学術大会プログラム

会	員	: 現地参加無料、オンデマンド配信	3,000 円
学	生	: 現地参加無料、オンデマンド配信	1,000 円
一	般	: 現地参加・オンデマンド配信とも	5,000 円

9. プログラム委員

大会長	高柳 友子	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 社会福祉法人 日本介助犬協会 専務理事(医学博士・リハビリテーション科 医師)
委員	山本 真理子	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 帝京科学大学アニマルサイエンス学科講師
	水上 言	社会福祉法人 日本介助犬協会 訓練部長・介助犬総合訓練センター長
	磯貝 歩	社会福祉法人 日本介助犬協会 管理部広報主任
	山口 義之	公益財団法人 日本盲導犬協会 専務理事
	水越 みゆき	公益社団法人 日本聴導犬推進協会 専務理事
	川村 慶	一般社団法人日本車椅子シーティング協会 副代表理事
	剣持 悟	川村義肢株式会社
	竹島 恵子	公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団
	黒沢 直子	

(順不同)

10. プログラム

※プログラムは変更の可能性があります。あらかじめご了承ください。

【12月9日:14時~】

■プレイベント 於:中部国際空港セントレアホール

航空関係者向け車いすセミナー(関係者のみ)14:00~16:00

対面プログラム(*後日オンライン配信)

【12月10日:11時~】

■市民公開イベント(11:00~12:00)於:中部国際空港イベントプラザ(第1ターミナル4階)

「もっと知って!ほじょ犬のこと ~ステージでの補助犬3種のデモンストレーション~」

公益財団法人 日本盲導犬協会 (15分)

社会福祉法人 日本介助犬協会 (15分)

公益社団法人 日本聴導犬推進協会 (15分)

■学術大会(13:00~18:00)* 於:中部国際空港セントレアホール(第1ターミナル3階)

大会長挨拶・来賓挨拶 13:00~13:10 (10分)

大会長講演 13:10~13:40(30分)

「犬と人をつなぐ、人と社会をつなぐ補助犬 ~人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして~」

演者:高柳友子(社会福祉法人日本介助犬協会専務理事)

シンポジウム1 13:50~15:30(100分)

「2020を振り返る~障害者・補助犬使用者がより航空機利用を身近に感じられるために~」

コーディネーター:竹島恵子(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

①2020を振り返る(30分)

仲前信治氏(公益財団法人日本パラスポーツ協会)

②航空会社のオリパラに向けた接遇関係の取組について

③アフターコロナを見据えたオリパラから2026アジア大会へ(20分)

彦田光興氏(中部国際空港株式会社空港運用本部空港運用部ターミナル運用・CS推進グループ)

④質疑応答(10分)

シンポジウム2 15:50~17:10(80分)

「海外からの補助犬使用者の受け入れ ~東京パラリンピックに向けての準備から受け入れ実態まで~」

コーディネーター：山口義之（公益財団法人日本盲導犬協会 専務理事 神奈川訓練センター長）

水上言（社会福祉法人日本介助犬協会 介助犬総合訓練センター長 訓練部長）

①パラリンピックに向けた海外からの補助犬使用者受け入れ体制構築について（15分）

周藤 方史氏（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室 社会参加活動支援推進官）

②コロナ禍における海外からの介助犬・聴導犬使用者の受け入れ準備・実態について（15分）

有馬 もと氏（社会福祉法人日本聴導犬協会 会長）

③コロナ禍における海外からの盲導犬使用者受け入れ準備について（15分）

井上 裕子氏（公益財団法人日本盲導犬協会 神奈川訓練センター 国際部マネージャー）

④コロナ禍における海外からの盲導犬使用者受け入れ対応について（15分）

鈴木 圭氏（元 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 パラリンピック統括室パラリンピック統括担当課長）

⑤質疑応答（20分）

■市民公開イベント（17:30～18:00） 於：中部国際空港イベントプラザ（第1ターミナル4階）
セントレア・スウィート・コーラス・フェスティバル

「ほじょ犬3種デモンストレーション」

出演：渡辺美香氏、河原龍夫氏

内容：紙芝居や歌で、補助犬のお仕事を楽しく紹介します

■懇親会（18:00～）

オンライン配信

ショートレクチャー

演者	所属	タイトル
水越美奈氏	日本獣医生命科学大学	補助犬健康管理マニュアル
竹島恵子氏	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団	見えにくい障害への様々な取組について～国内外の空港から～
彦田光興氏	中部国際空港株式会社空港運用本部空港運用部ターミナル運用・CS推進グループ	セントレア空港のサービス強化・改善に向けた取り組みの紹介
大沢郁恵氏	盲導犬使用者	補助犬と一緒にやってみた～旅行、転職、国際大会～
藤原智貴氏	介助犬使用者	
東彩氏	聴導犬使用者	
Tiffani Howell 氏	La Trobe University	オーストラリアの保険制度 (NDIS) と補助犬
長江千愛氏	聖マリアンナ医科大学病院小児科	コロナ禍を乗り越えての勤務犬活動／3代目への挑戦
中澤若菜氏	神奈川リハビリテーション病院	わが国の補装具制度と補助犬制度との比較
小澤温氏	筑波大学大学院・人間総合科学学術院	
飛田桂氏	NPO 法人子ども支援センターつなぐ	子ども支援センターつなぐの事業と付添犬の役割
檜垣史氏	オフィシャル Do As I Do トレーナー	Do As I Do トレーニングメソッドの紹介

協賛募集要項

<寄付募集要項>

1. 募集内容

募集1口につき、以下 4.(1)～(2)の広告機会を提供します。
2口以上お申込みの場合は、ロゴマークのサイズアップ等、広告機会が多くなります。
2口以上のお申込みをできる限りお願い申し上げます。

2. 協賛(ご寄付)料金 1口 50,000円(税込)

3. 募集期間 2022年10月17日(月)～11月14日(月)

4. 協賛(寄付)団体、企業様の表示方法、媒体

(1) 大会当日のロゴマーク、社名の表示

① 市民向けプログラム開催時に、会場ステージ付近に企業ロゴマーク、社名を掲載したスクリーンを設置。
※2口までは口数に応じ広告コマを提供。3口以上のご協賛時は口数にコマ数をプラスして提供。

② 学術大会開催会場において、プログラム開始前後・幕間にスクリーンに協賛企業ロゴマーク、社名を掲載。
※3口以下お申込の企業・団体は合同で一枚のスライドに映写。
4口以上のお申込で1社・1団体で全面に社名・ロゴ掲載。



左:会場スクリーン(中部国際空港セントレア イベントプラザ)
注)実際のサイズや掲載形式は異なります。

右:第11回大会協賛スクリーン

(2) 大会ホームページでの社名記載、ロゴマーク・バナー広告の掲載(希望に応じて)



①掲載期間:

2022年11月1日(火)～2023年1月31日(火)

※掲載開始はお申し込み後、データをいただき、設定以後の掲載となります。

②掲載場所:

日本身体障害者補助犬学会 第14回学術大会ホームページ

【社名】協賛申込ページ

(https://supportoffice.jp/jssdr2022/sponsorship_reg/)

【ロゴマーク・バナー広告】トップページ

(<https://supportoffice.jp/jssdr2022/>)

(上:HP バナー掲載イメージ)

<閲覧対象者>

本学会会員、演題応募者、参加事前登録者、一般市民など

<申込方法>

ホームページへのバナー広告の希望有無を申込みフォームにご記入ください。

ご希望をいただいた場合には、リンク先、掲載バナーデータについて事務局からお伺いします。

(掲載バナーデータはご用意願います)

<データ入稿方法>

1) 入稿データ(バナーデータ・リンク先URL)を1つのzipファイルにまとめてください。

2) zipファイル名は必ず【掲載を希望する企業名(団体名)】にしてください。

3) 下記URLより【ファイルを選択】もしくは【パソコンから選択】をクリックしてアップロードしてください。

<https://www.dropbox.com/request/HA4hfX5wa9IojHxG5FqI>

<入稿締切日>

2022年11月17日(木)までにご入稿ください。

5. 透明性ガイドラインに関する同意について

添本学会では、本学術総会(寄附金)に関して、各社の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインに関する指針」に基づいて情報公開することに同意いたします。なお、別途同意書への押印・サインは控えさせていただきますので、予めご了承ください。

<協賛申し込み方法及び協賛金振込口座>

1. 協賛金申し込み方法

下記サイトより必要事項をご記入の上、お申し込みください。

https://supportoffice.jp/jssdr2022/sponsorship_reg/

注) 後日、追加の協賛をお申し込みされる場合は、同様に上記サイトよりお申し込みください。

注) 本会議への参加資格について

御協賛いただきました皆様に対しては本学術大会の講演会場および関連プログラムへの参加資格はありません。参加を希望される場合は別途参加申込を行って下さい。展示会場への出展者の入場制限はありません。

【連絡先】

日本身体障害者補助犬学会 第14回学術大会運営担当事務局

〒162-0833

東京都新宿区笹笥町43 新神楽坂ビル2階

有限会社ビジョンブリッジ内

E-mail:jssdr2022@supportoffice.jp

Tel:03-5946-8848

2. 協賛金振込口座

<口座名義(漢字)>

日本身体障害者補助犬学会学術大会

<口座名称(カナ)>

ニホンシンタイシヨウガイシヤホジヨケンガツカイガクジユツタイカイ

■ 銀行名:	みずほ銀行
■ 店番:	061
■ 店名:	飯田橋支店
■ 預金種目:	普通
■ 口座番号:	3073876

過去の学術大会

第 1 回

大会長:竹前 栄治(東京経済大学 名誉教授)

開催日時:平成 18 年 1 月 29 日(日)

開催場所:国立身体障害者リハビリテーションセンター学院講堂

第 2 回

大会長:池本 卯典(日本獣医生命科学大学 学長)

開催日時:平成 19 年 6 月 23 日(土)・24 日(日)

開催場所:日本獣医生命科学大学

第 3 回 メインテーマ:「人と犬の絆・補助犬」

大会長:山崎 薫(日本身体障害者補助犬学会 理事・学校法人ヤマザキ学園 理事長・学長)

開催日時:平成 21 年 10 月 17 日(土)・18 日(日)

開催場所:ヤマザキ動物看護短期大学

第 4 回 メインテーマ:「より永く、より幸せに ~補助犬に求められる獣医学~」

大会長:鷺巣 月美(日本獣医生命科学大学 獣医学部 臨床病理学教室 准教授)

開催日時:平成 23 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)

開催場所:日本獣医生命科学大学

第 5 回 メインテーマ:「身体障害者補助犬法:次の 10 年に向けての提言」

大会長:三浦 靖史(神戸大学大学院 保健学研究科 准教授)

開催日時:平成 24 年 10 月 27 日(土)・28 日(日)

開催場所:宝塚ソリオホール

第 6 回 メインテーマ:「補助犬のウェルビーイング~健康と福祉を考える~」

大会長:林 一彦(日本大学松戸歯学部 特任教授)

開催日時:平成 25 年 10 月 26 日(土)・27 日(日)

開催場所:日本大学 松戸歯学部校舎棟

第 7 回 メインテーマ:「人にも動物にもやさしい社会をめざして ~2020 年に向けて~」

大会長:高柳 友子(医師・社会福祉法人日本介助犬協会 事務局長)

開催日時:平成 26 年 9 月 20 日(土)・21 日(日)

開催場所:中部国際空港セントレア

第 8 回 メインテーマ:「補助犬が拓く 楽しい旅、やさしい社会 ~2020 年に向けて~」

大会長:秋田 裕(日本身体障害者補助犬学会 理事長)

開催日時:平成 27 年 10 月 31 日(土)・11 月 1 日(日)

開催場所:羽田空港 国際線旅客ターミナル 4F TIAT SKY ホール

第9回 メインテーマ:「ユニバーサル社会と補助犬 ～障害者差別解消法をふまえて～」

大会長:神沢 信行(甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授)

開催日時:平成 28 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)

開催場所:神戸大学 先端融合研究環統合研究拠点 コンベンションホール

第10回 メインテーマ:「補助犬の福祉を考える ～幸せな使用者を支える幸せな犬たち～」

大会長:山崎 恵子(公益社団法人 日本聴導犬推進協会 副理事長)

(特定非営利活動法人日本補助犬情報センター 副理事長)

開催日時:平成 29 年 10 月 28 日(土)・29 日(日)

開催場所:アオーレ長岡 市民ホールA

第11回 メインテーマ:「世界を翔る補助犬使用者 -2020 オリパラに向けて-」

大会長:菊地 尚久(リハビリテーション科医師・医学博士・千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長)

開催日時:平成 30 年 10 月 6 日(土)～7 日(日)

開催場所:成田国際空港第2ターミナル4階 有料待合室(成田空港)

第12回 メインテーマ:「旅と補助犬 ～泊まる・食べる・集う 快適な過ごし方を支える背景とは～」

大会長:山本 護 (株式会社京王プラザホテル 代表取締役社長)

開催日時:令和 元年 10 月 5 日(土)～6 日(日)

開催場所:京王プラザホテル 4階 錦

第13回 メインテーマ:「すべての人が暮らしやすい街に“できること”を考える」

大会長:川村 慶(川村義肢株式会社 代表取締役)

開催日時:令和 元年 11 月 20 日(日)～12 月 31 日(金)

開催場所:Web 開催(オンデマンド配信)

過去の学術大会写真記録

第7回学術大会(2014年)実施報告(ご参考)

●市民公開講座 9月20日



スペシャルトーク:安藤美姫さん・大日方邦子さん 補助犬デモスペシャルトーク:狩野亨さん

●学術大会 講演 9月21日

<基調講演>
スーザン・ダンカン看護師
(元ナショナルサービスドッグ 所長)

<航空関係者向け車椅子セミナー>



<シンポジウム>

「すべてのお客様に快適なおもてなしを ～私達の取り組み～」

黒沢 直子氏

日本航空プライオリティ・ゲストセンター

「補助犬受け入れの取り組みと今後について」

野口 浩一氏

株式会社オリエンタルランド CS 推進部

「テーマパークにおける補助犬受け入れと今後について」

荒尾 和史氏

中部国際空港株式会社 取締役執行役員 空港運用本部長

「中部国際空港のユニバーサルデザイン」



第8回学術大会(2015年)実施報告(ご参考)

● 10月27日 航空関係者向け補助犬受け入れセミナー 羽田空港 ANA ホール



● 10月31日 補助犬デモンストレーション

羽田空港国内線第1旅客ターミナルビル 2階「マーケットプレイス」



羽田空港国際線旅客ターミナルビル 4階「江戸舞台」スペシャルゲスト 安藤美姫さん



●10月31日 補助犬使用者向け 羽田空港体験ツアー



●11月1日 学術大会講演

<シンポジウム>

演 者: 田中穂積氏 (日本旅行協会 バリアフリー旅行部会 部会長)

「障害者差別解消法と旅行業界の対応」

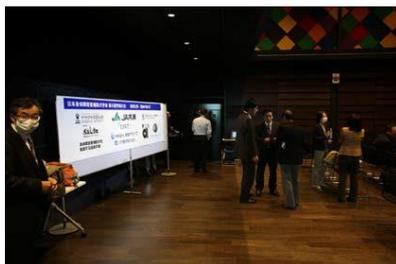
垣内俊哉氏 (株式会社ミライロ代表取締役社長)

(一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会代表理事)

「旅行業界におけるユニバーサルマナー」

大槻正伸氏 (ANA おからだの不自由な方の相談デスク 主席部員)

「おからだの不自由なかたへの空の旅へのお手伝い」



指定発言: 介助犬使用者 佐藤美樹&介助犬・いろは

第 11 回学術大会(2018 年)実施報告(ご参考)

<プレイベント> 補助犬利用者向け成田国際空港体験ツアー

2018 年 10 月 6 日(土) 12:00~14:00 成田国際空港 第 1 および第 2 ターミナルビル



<市民向け公開講座>

2018 年 10 月 6 日(土) 15:00~17:00 第 2 ターミナル 3F スカイリウム(ステージ)



<学術集会>

2018年10月7日(日) 第2ターミナル 4F 有料待合室 A-2・3



第12回学術大会(2020年)実施報告(ご参考)

<市民向け公開講座>

2019年10月5日(土) 15:00~17:30 京王プラザホテル 4階 錦



<ユニバーサルルーム・補助犬トイレ見学会>

2019年10月5日(土) 17:30~18:30 京王プラザホテル



本館30階(ユニバーサルルーム)・南館3階ロビー外側(補助犬トイレ)

<学術集会>

令和元年10月6日(日) 京王プラザホテル 4階 錦



第13回学術大会(2022年)実施報告(ご参考)

<市民向けプログラム:介助犬のひろば>

令和3年10月20日(水)~11月19日(金)



<川村義肢株式会社 見学ツアー>

令和3年11月19日(金) 14:00~15:00 ライブ配信



令和3年11月21日(日)~12月31日(金) オンデマンド配信

※動画はすべて字幕付きで配信

【大会長講演】



The video player shows a speaker on the left and a presentation slide on the right. The slide contains the following text:

KAWAMURAグループ KAWAMURA Pacific Supply
www.kawamura-group.com

日本障害者補助犬学会 第13回学術大会 大会長講演
街活かして人活かし
「フィールドセオリー」私が精魂込めて創っていること~

川村義肢株式会社 パシフィックサプライ株式会社
代表取締役 **川村 慶** (義肢装具士)

皆さんこんにちは

【基調講演】



The keynote presentation slide features the following text:

第13回日本身体障害者補助犬学会基調講演
2021年11月オンライン開催

**リハビリテーション科医が語る
犬の素晴らしさ**

リハビリテーション科医師
(兵庫医科大学リハビリテーション医学講座)
道免和久

The photo on the right shows the speaker, Dr. Kazuhisa Michiomi, smiling next to a golden retriever dog.

【シンポジウム1】



The symposium program overview includes the following information:

日本身体障害者補助犬学会 第13回学術大会 シンポジウム1
「身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究」報告
~2019-2020年度厚生労働行政推進調査事業~

日本身体障害者補助犬学会 第13回学術大会 シンポジウム1

筑波大学の小事 あつしてます。

第13回日本身体障害者補助犬学会学術大会シンポジウム概要
**身体障害者補助犬を使用する障害者の
需要推計方法の検討と試算**

国立障害者リハビリテーションセンター
栗野 絵

国立障害者リハビリテーションセンターの栗野と申します。

身体障害者補助犬訓練事業と他の身体障害者社会参加
支援施設との比較制度研究
(2020年度研究報告)

小澤 温(筑波大学大学院・人間総合科学学術院)

障害者政策総合研究事業
身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究
に期待すること

国立障害者リハビリテーションセンター 顧問
飛松好子

国立障害者リハビリテーションセンター 顧問の飛松好子です。

【シンポジウム 2】

「コロナ禍における補助犬訓練事業者のホンネと取り組み」

公益財団法人 北海道盲導犬協会 訓練/パピー担当部長 加藤 淳一
 公益財団法人 日本盲導犬協会 専務理事/神奈川訓練センター長 山口 義之
 公益財団法人 九州盲導犬協会 訓練グループ部長 荒瀬 秀夫
 公益財団法人 日本聴覚障害者協会 盲導事業部長 水城 尚志
 社会福祉法人 日本介助犬協会 訓練部長/シンシアの丘センター長 水上 貴
 コーディネーター 本学会理事/高橋 友子

は、皆さんこんにちは。

まとめ

- 1) コロナ禍で出来なくなったこと
 → 不特定多数の方に向けた啓発事業・募金活動・収益事業
 パブリック講座、密が避けられない状況、合同訓練等の障害者対応
- 2) コロナ禍で初めて出来るようになったこと
 → リモートコミュニケーション、リモートワーク：メリットあり！
- 3) 障害特性上のコロナ禍での困難
 → 悪化化ハリス、マスク着用困難、支援（＝声）困難、コミュニケーション
- 4) 新たに取り組み始めたこと
 → リモート対応、SNS、YouTube等の発信拡大：発信力向上
- 5) 皆さんに知って頂きたいこと
 → 見えにくいこと、マスクを着けて口の動きが見えないこと、マスクの裏面ができて
 困っている人がいること、障害があることでより多くの困難を抱えていること！！

SNSやYouTube等の発信で発信力は、

【ショートレクチャー】

「できる」「あきらめなくてもいい」を実現するモノづくり
 川村義哉株式会社 パシフィックサブライイ株式会社
 代表取締役 川村 慶 (義肢装具士)

川村義哉の川村でございます

地域で闘う理学療法士たち
 日本理学療法士連盟 企画局長
 臨床研修理学療法士連盟 会長
 株式会社スイッチオンサービス
 代表取締役 理学療法士 石川 剛昭

ショートレクチャー
 日本一補助犬使用者にやさしい街づくり
 2021年11月21日-12月21日
 日本身体障害者補助犬学会
 第13回学術大会
 川村義哉株式会社 製造本部
 部長 豊

ショートレクチャー
 義肢装具の歴史
 川村義哉歴史展示室紹介
 2021年11月21日-12月21日
 日本身体障害者補助犬学会
 第13回学術大会
 川村義哉株式会社 製造本部
 部長 豊

第13回日本身体障害者補助犬学会
 ショートレクチャー
 ほんまはどうなん？
 障害者の就労と雇用
 KAWAMURAグループ
 川村義哉/パシフィックサブライイ
 大庭 正子

令和3年度
 日本身体障害者補助犬学会
 第13回学術大会
 ショートレクチャー
 ☆ 自宅でイキイキ体も心も軽やかに!! ☆
 〜ドッグ yoga にチャレンジ〜
 四楓庵学園大学 作業療法学専攻
 理学・作業療法士 野口 裕美

日本介助犬協会によるDOG INTERVENTION
 ~AAA/AAAT、付添犬など~の取り組み
 日本介助犬協会 水上 貴

身体障害者補助犬で繋がる！
 OT・PTのネットワークの構築
 大阪信託大学作業療法学部 文 田中 文